

「愛深きブームスの世界～室内楽の魅力」

Vol.1 ~スイス トゥーンの風景の中から~

ヴァイオリン



荒川以津美

ヴァイオリン



山中直子

チェロ



松葉春樹

ピアノ



井上さゆり

ピアノ



本多昌子

ピアノ



島田三津起

ピアノ



鷺谷 宅

2015年6月6日(土)14時開演(13時30分開場)

会場：汐留ベヒシュタインサロン

入場料：4,000円／全自由席(終演後ミニパーティ付き)

チケット申し込み：アコールヴィブル株式会社 TEL 03-6909-0401

プログラム

クララ・ショーマン：ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22
山中直子(vl) 本多昌子(pf)

J. ブームス：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番 ニ短調 作品108
荒川以津美(vl) 島田三津起(pf)

J. ブームス：チェロとピアノのためのソナタ第2番 ヘ長調 作品99
松葉春樹(vc) 鷺谷宰(pf)

J. ブームス：ピアノトリオ第3番 ハ短調 作品101
荒川以津美(vl) 松葉春樹(vc) 井上さゆり(pf)

企画: Kompanie Brahms

後援: 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ヨーロピアノ株式会社 公益財団法人 読売日本交響楽団

マネージメント: アコールヴィブル株式会社



汐留ベヒシュタイン・サロン

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-2 グラディート汐留1F
TEL 03-6432-4080

地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
汐留駅 8番出口より 徒歩4分
JR・地下鉄 新橋駅 汐留駅より 徒歩7分
JR・モノレール 浜松町駅より 徒歩8分
地下鉄浅草線 大門駅より 徒歩8分

(写真提供 荒川以津美)

愛深きブラームスの世界 室内楽の魅力

大学卒業後、それぞれの道で演奏活動している同級生のメンバーが、2014年に再会しました。お気に入りのワインを持ち寄り、音楽談義に花が咲きます。

“ブラームスの室内楽はピアニストの憧れ”ということに共感し、さらにブラームスの楽曲に対する熱い想いで心が一つになり、それがピアノを中心とした「ブラームス室内楽作品全曲演奏」をめざす今回の企画に発展しました。

ブラームスが愛した音楽や出会った人々、ワインや風景に思いを馳せて、愛深きブラームスの世界を探求していこうと思います。

Kompanie Brahms 演奏者一同



演奏者プロフィール

荒川 以津美 (ヴァイオリン)

東京芸術大学附属音楽高校及び同大学を経て、同大学院修了。その後、読売日本交響楽団入団。95年アフィニス文化財団海外研修員としてパリ、ベルリンに留学、96年ブーローニュ音楽院室内楽科に於いてブルミエ・ブリを取得し帰国。第1回日本モーツアルト音楽コンクール前田賞奨励賞受賞。第1回日本室内楽音楽コンクール入選。NHK-FMコンサートに出演。ザルツブルク室内合奏団とモーツアルの協奏曲を協演。

ヴァイオリンを鷺見三郎、鷺見健彰、岡山潔、B・カトーナ、G・ブーレ、R・クスマウル、他各氏に師事。

現在、読売日響団員としてオーケストラ活動する他、リサイタル、室内楽活動、協奏曲のソリストとしても活躍する等、幅広く活躍している。

山中 直子 (ヴァイオリン)

第31回全日本学生音楽コンクール中学校の部東日本第2位。東京芸術大学附属高校、東京芸術大学音楽学部を経て、同大学院修士課程修了。在学中、ローザンヌ音楽アカデミー、カールフレッシュアカデミーのマスタークラスを受講。1988、1993年にソロリサイタルを開催。

これまでに鈴木共子、山岡耕作、矢嶋佳子、田中千香士、堀正文、浦川宣也の各氏に師事。現在は室内楽を中心に活動し、地域に根ざした音楽活動も積極的に行っている。

松葉 春樹 (チェロ)

東京芸術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。1988年より2年間ハンガリーのリスト音楽院に留学。1992年より読売日本交響楽団チェロ奏者を務めるとともに、ハンガリー、日本各地でのソロ・リサイタル、ハンガリー国営バルトーク・ラジオ、NHK・FMリサイタルへの出演等、ソロや室内楽においても積極的な活動を行っている。第5回日本室内楽コンクール入賞。文化庁在外派遣研修員としてドイツ・ミュンヘン、ハンガリー・ブダペストにて研鑽を重ねる。

これまでに、チェロを清水勝雄、堀江泰氏、毛利伯郎、R・フランショ、L・メズの各氏に、室内楽をL・グレーラー、S・デーヴィチ、店村真積の各氏、並びにアルバン・ペルク弦楽四重奏団、バルトーク弦楽四重奏団に師事。

井上 さゆり (ピアノ)

第12回毎日学生ピアノコンクール北海道大会高校生の部優秀賞受賞。東京芸術大学音楽学部卒業。神奈川県立音楽堂新人演奏会に出演、以後現在まで東京・北海道各地でリサイタル多数開催。ここ数年は室内楽、ピアノデュオに意欲的に取り組む。これまでに河原裕康、宮澤功行、渡辺健二、松浦豊明の各氏に師事。日本ピアノ教育連盟会員。

本多 昌子 (ピアノ)

第29回全日本学生コンクール小学校の部全国第一位。東京芸術大学卒業、東京芸術大学大学院修了。故中島和彦、杉山千賀子、故田村宏、ティニー・ヴィルツの各氏に師事。在学中第52回日本音楽コンクール入選、学内にて「安宅賞」受賞。1987年DAADドイツ学術交流会の給費留学生として旧西ドイツケルン音楽大学に留学、当地にてリサイタルを催す。「若い芽のコンサート」NHK交響楽団と共に、芸大定期新卒業生紹介演奏会にて芸大オーケストラと共に演奏。1994年CD「現代日本のヴァイオリン音楽・抄」(vn.天満敦子)でピアノ共演者として文化庁芸術作品賞を受賞。これまでに昭和音楽大学、芸大附属高校非常勤講師を勤め、後進の指導にもあたっている。

島田 三津起 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部卒業。松浦豊明、渡辺健二に師事。

民間企業に就職しフランスに6年半滞在、仏人ヴァイオリニスト、マーク・ブリア氏と出会い仏国内地方都市で演奏活動。1993年兵庫県庁入庁、95年から2年間は仏大使館に外交官として渡仏、矢崎彦太郎、佐渡裕等と親交。97年仏モンフォーラモリー『ラベルの日』に渡辺篤子氏と出演。その後、阪神・淡路大震災からの産業復興、観光、環境行政等に携わり、兵庫県東京事務所次長を経て、現在兵庫県国際交流協会事業推進部長。

鷺谷 宰 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部を経て、同大学院修士課程修了。鈴木洋、松浦豊明、渡辺健二、安川加寿子の各氏に師事。S.ドレンスキ、K.シルデ、P.ランゲ、G.ムニエ各氏の指導も受けた。1993年より20回に及ぶリサイタルの他、室内楽、伴奏等幅広い演奏活動を行っている。